

1. 計画について (3件)

NO.	項目	意見骨子	関連頁	件数	対応	市の考え方
1	計画全般	ビジョンにつなげていくものが読み取れない。第2次の進捗度の比較がないので、3次でどのように進めていくのか、具体的な事柄をあげられると、3次の方針が分かりやすかったのでは。	全般	1	参考	計画の参考とさせていただきます。
2		市が計画推進の為に様々な働きかけをしていることがよく判った。	全般	1	参考	
3		本を読む楽しさを子どもたちの間にひろげてゆく様々な活動があることを知った。これからも応援していきたい。	全般	1	参考	

2. 読書環境の整備について (10件)

NO.	項目	意見骨子	関連頁	件数	対応	市の考え方
4	読書通帳	読書通帳を実施してほしい。読書通帳機を設置してほしい。	40	1	追加	イベント等で「読書通帳」を作成し、配布することを検討していきます。
5		図書館通帳の導入。学校などとも連携し、1冊にまとめられるとなおよい。	40	1		
6	子どもの読書環境を豊かにするために	●子どもに本を読ませるためには、保護者をはじめ、周囲の大人が携帯端末を手放し、本を読む姿を見せること。大人も子どもの本を読んでみてはどうか。		3	参考	計画の参考とさせていただきます。
7		●乳幼児の保護者には、幼い頃から携帯端末を見せないよう伝えたい。バーチャルな刺激ではなく、生身のかかわり合いが子どもの成長には必要。				
8		●親子で国際子ども図書館に行くことを薦めたい。				

9	子どもの読書環境を豊かにするために	活動が平面的で面白くない。立体的な活動が必要。一方的な読み聞かせではなく、親子で音読しあい、本の内容を理解し、相手に伝える楽しさを味わう。子どもが老人の方々に読んでさし上げたり、家族間で本に関する話題もできるのではないか。		1	参考	計画の参考とさせていただきます。
10		大人がもっと本を読むべき。そのためには、昭和初期に活躍した文学者の朗読を聴き、本への興味をもつことが大切。幼児だけでなく、大人向けの朗読を。		1	参考	大人向けの朗読に関しては、第3次鎌倉市図書館サービス計画の中で検討していきます。
11	市図書館の読書環境整備について	玉縄図書館の造りは、子どもが来たいと思う環境とは言いがたい。図書館のリノベーションしてほしい。子どもコーナーを入り口近くに、雰囲気や配色を明るく、鎌倉のオリジナリティを加える。	44	1	参考	子どもが来たくするような、環境整備に努めていきます。
12	市図書館と学校の連携	第1次、第2次と、各計画をもとにした確実な取り組みにより、学習パック利用が年々充実し、学校搬送方法も定着、学校図書館専門員、読書活動推進員、小中学校教員対象の研修も定例実施されるようになったことで、図書館と学校の連携は第1次を策定した平成20年度当初よりもはるかに緊密になった。	16、17 29、30 42、43	1	案にあり	今後も緊密に連携して、取り組んでいきます。
13	図書館専門職の人材の充実を	計画推進のためにも司書資格をもった専門職員を市として育成していったほしい。	29、46	1	案にあり	研修を通じ、専門性の向上を図っていきます。

3. 市図書館の事業について (2件)

NO.	項目	意見骨子	関連頁	件数	対応	市の考え方
14	地域館の行事	地域館のおはなし会は身近にあるからこそ地元の子どもたちが参加しやすい。地域館こそ家庭・地域とも連携を図りやすく、正規職員の確保が不可欠。	45	1	案にあり	今後もおはなし会など子どもと本をつなぐ行事を充実させていきます。また、様々な人材を活用して、図書館サービスを実施していきます。
15	外国語のおはなし会の開催	小学校でも英語が授業に取り入れられている。外国語のおはなし会を不定期開催から定期開催へ。子どもたちを読み手として参加させられるよう発展させていければよい。	37、50	1	案にあり	多言語おはなし会を発展させていけるよう、取り組んでいきます。

4. 学校について (2件)

NO.	項目	意見骨子	関連頁	件数	対応	市の考え方
16	学校	中学校の学校図書館への人の配置と地域館との継続的な連携を希望。	19、42	1	案にあり	計画の中で取り組んでいきます。引き続き、かまくら読書活動支援センターの役割を充実させ、連携を深めていきます。
17	学校図書館の蔵書のデータ化	「鎌倉市立小中学校図書館運営連絡協議会」が発足したことを高く評価する。長年の懸案事項である「学校図書館の蔵書のデータ化」を最重要課題として、迅速に進めていくことが必要。図書館と学校図書館(その他の子ども関係の施設も)蔵書データの一元化ができれば、蔵書をより効率的効果的に活用できる。	18、19 20、43	1	案にあり	学校図書館の蔵書のデータ化も含め、市図書館と学校図書館との連携の可能性について、検討していきます。

5. 様々な子どもたちへの取組みについて (1件)

NO.	項目	意見骨子	関連頁	件数	対応	市の考え方
18	様々な子どもたちの読書活動のニーズに合わせたサービス	様々な子どもたちの読書活動のニーズに合わせたサービスは、公共の図書館が担う最も大切な役割の一つと考える。関係各課との連携による利用者の掘り起こしやイベント開催時の丁寧な呼びかけなど、常に意識して取り組まれることを望む。	36、37 50、51	1	案にあり	真摯に受け止め、計画を実行していけるよう取り組んでいきます。

6. 地域性を活かした取組みについて (1件)

NO.	項目	意見骨子	関連頁	件数	対応	市の考え方
19	地域性を活かして	子ども向け近代史資料室の考察をお願いしたい。鎌倉に住み次代を担う子どもたちに鎌倉の近現代史は重要。世代間を超えて交流できる場も図書館内に作ってほしい。	33、35 48	1	案にあり	計画の中で取り組んでいきます。また、世代間を超えて交流できる場については、第3次鎌倉市図書館サービス計画の中で検討していきます。

7. その他(市図書館への意見) (1件)

NO.	項目	意見骨子	関連頁	件数	対応	市の考え方
20	公共施設再編計画の見直しを	公共施設再編計画にある、子ども会館などの複合化について、拠点の減少は、家庭・地域・図書館を繋ぐ活動の普及に逆行する施策なので、見直しを。		1	参考	ご意見については、担当部署に伝えていきます。